

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2026年7月31日

マリオット・インターナショナル

本年度で5回目を迎えるバーテンダーコンペティションの日本地区決勝を、

ザ・リッツ・カールトン福岡にて開催！

～全国のマリオットグループからバーテンダーが競い合った中、

今年のテーマ「The Future Larder」を見事に表現した優勝作品が決定！

優勝者は今後開催されるアジア太平洋地区の決勝戦へと進出～



マリオット・インターナショナルは、日本各地に展開するマリオット・インターナショナルグループのバーテンダーが腕を競う「**2026 Japan Marriott International Sustainable Rising Star**」日本地区決勝戦を2026年7月27日（月）にザ・リッツ・カールトン福岡にて開催いたしました。2022年から始まり今回で5回目の開催となった本コンペティションでは、東京エ디션虎ノ門「Lobby Bar」所属の渡部 海斗による「Nowhere Larder」が1位に輝き、ザ・リッツ・カールトン福岡「Bay」所属の竹山 世里による「Golden SunRice」が2位を受賞しました。受賞者の2名は日本代表として、今後開催されるアジア太平洋地区（中華圏を除く）の決勝戦へと進みます。

本年のコンペティションは、「**The Future Larder（未来のパントリー）**」をテーマに開催されました。従来のカクテルの枠を超え、料理の世界で用いられる発酵、保存、塩味、新たな酸味などといった要素を取り入れながら、これまで料理の世界で培われてきた技術に着目し、「未来の飲食体験」を表現することが出場者に求められました。

数ある応募の中から選ばれた8名のバーテンダーは、シトラス以外の発酵由来の酸味や、味を設計するためのツールとして「塩」の活用など、革新的なアプローチを披露しました。優勝作品の「Nowhere Larder」は、テーマの表現力に加え、サステナビリティや地域性、さらにはそれらのストーリーを魅力的に伝えるスキルが高く評価されました。

本コンペティションは、バーテンディングにおける持続可能な実践を称えるとともに、未来のバー業界を牽引する革新的な技術と食材の活用に焦点を当てています。参加したバーテンダーたちは、「未来のパントリー」を通じて、味わい、香り、ストーリーが織りなすこれからの時代を彩る新しいカクテル体験を提案しました。

【コンペティション 開催概要】

■日本地区決勝戦

- ・開催日時：2026年7月27日（月）
- ・開催場所：ザ・リッツ・カールトン福岡
- ・審査員：
 - 長友 修一氏（Bar Oscar オーナーバーテンダー）
 - 佐久間 “マーシー” 雅志氏（京都ドライジン「季の美」グローバルアンバサダー）
 - セバスチャン・クレンズマン氏（コートヤード・バイ・マリオット名古屋およびフォーポイントバイシェラトン名古屋 中部国際空港 総支配人）

【入賞作品、受賞者のコメント】

■「Nowhere Larder」

東京エディション虎ノ門「Lobby Bar」所属 渡部 海斗



「今回の受賞は、自分一人ではなく、支えてくれたチームのサポートがあったからこそ成し遂げられた結果です。振り返れば、これまでの歩みはまさに『no where（何もない場所）』からの模索の連続でした。しかし、仲間や環境に恵まれたことで今ここに立ち、『now here（今、この場所）』から新たな価値を形にすることができました。

この経験を胸に、次は日本代表としてアジア大会でも全力を尽くしてきます。引き続き応援よろしくお願いします」

■「Golden SunRice」

ザ・リッツ・カールトン福岡「Bay」所属 竹山 世里



「Golden SunRice は Monkey47 に炒ったお米の香ばしさと、マンゴーの甘み、そして自家製柚子ポン酢の酸味と旨味を重ねた一杯です。未来の食料庫に残したい食材として栄養価が高く長期保存が可能なお米に焦点を当て、未来を照らす黄金の輝きを表現しています。ドイツと九州の豊かな自然の恵みを掛け合わせることで新たな価値へと昇華させました。

Golden SunRice と共に太陽のように明るい未来への希望を感じていただけると嬉しいです」

マリOTT・インターナショナルでは、ホテルにおける飲食体験をブランド価値を支える重要な柱の一つと位置づけ、独創的なバーコンセプトの開発や、次世代を担うバーテンダーの発掘・育成に継続的に取り組んでいます。最近では、アジア地域すべてのバーの中から選出されるアジア最高のバーアワード「Asia's 50 Best Bars 2026」において、東京エディション銀座の「Punch Room Tokyo」が第23位ランクインし日本国内のバーとして最高順位を獲得、ザ・リッツ・カールトン東京の「ザ・バー」が同アワードの51-100位リストで第75位に選出されるなど、マリOTTのホテルバーは国際的にも高い評価を得ています。本コンペティションを通じて、バーテンダーが互いに刺激を受けながら創造性と技術を高め、その才能を世界へ発信できる機会を創出するとともに、今後もお客様の記憶に残る革新的なバー体験を提供してまいります。

マリOTT・インターナショナルについて

マリOTT・インターナショナルは米国メリーランド州ベセスダに本社を置き、2026年6月11日時点で、ラグジュアリー、プレミアム、セレクト、ミッドスケール、長期滞在型、オールインクルーシブなど、多彩なブランドポートフォリオのもと、146の国と地域に10,000軒の施設を展開しています。マリOTTは、ホテル、レジデンス、タイムシェア、ヨット、アウトドア宿泊施設をはじめとするさまざまな宿泊商品について、フランチャイズ、運営およびライセンス事業を世界各地で展開しています。また、数々の賞を受賞している旅行プラットフォーム「Marriott Bonvoy®」を提供しています。詳細については www.marriott.com を、最新の企業ニュースについては www.marriottnewscenter.com をご覧ください。さらに、[Facebook](#)、[X \(@MarriottIntl\)](#) および [Instagram](#) でも情報を発信しています。

【報道関係者からのお問い合わせ】

マリOTT・インターナショナル 井原

EMAIL : Emi.Ihara@marriott.com

マリOTT・インターナショナル PR 事務局（イニシャル内）菅原・秋山

TEL : 03-5572-7334 EMAIL : marriottinternational_pr@vectorinc.co.jp